

✓ 食物アレルギーを見逃さないための問診表

問診内容	注目ポイント	飼い主様への聞き方の例	根拠
初発時期	1歳未満	子犬の頃から耳や体を掻いていたり、手足をなめる動作が目立ちませんでしたか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 食物アレルギーは1歳未満から何らかの症状を出す。 ● 飼い主様が軽微な徴候に気付いていないことが多い。 ● 2歳以降の発症は環境性のアレルギーであることが多い。
季節性の有無	通年性	冬に全く痒みはありませんか？ それとも、冬でも少しは痒いけれど、我慢できるくらいですか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 食物アレルギーは通年性の症状、環境性のアレルギーは季節性の症状を出す。 ● 環境アレルギーに対する反応のみであれば、冬にはアレルギー曝露量が減るため、症状が現れにくい。 <p>※ただし、食物アレルギーと環境アレルギーに反応する犬アトピー性皮膚炎を併発している場合、通年性に症状があり、夏には悪化する。</p>
病変部位	顔(眼・口周囲) 背中 肛門周囲 (時に四肢端や外耳道)	おしりを引きずったり、背中、顔をこすったり、 気にして舐めようとする様子はありませんか？ ● 弊社Webサイトにて発症時の様子を動画で参照できます http://www.aacl.co.jp/foodallergy/index.html	<ul style="list-style-type: none"> ● 食物アレルギーに特徴的な病変部位を見逃さない。ただし、これらの部位に症状がないからといって、食物アレルギーの否定はできない。 <p>※四肢端のみ、外耳炎のみに症状が出るパターンや腋窩、肘内側、内股に症状が出るパターンもある。</p>
排便回数	一日3回以上	一日に何回排便をしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 健常便、軟便、下痢便に関わらず、食物アレルギーでは便の排出回数が増える場合がある。
食事内容	フードの原材料	今、フードは何を与えていますか？ おやつやガムも与えていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の食事内容からアレルギーとなっているタンパク質を推測する。 ● おやつやガムにもタンパク質が含まれている。